

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	熱中症患者の医学情報等に関する疫学調査(Heatstroke STUDY)
研究責任者	日本赤十字社医療センター 救急科 林 宗博
研究機関名	日本赤十字社医療センター 救命救急センター
研究目的と意義	<p>日本救急医学会では熱中症に関する全国的な疫学調査を2006年から行い、調査結果から高齢者を中心に日常生活の中で発生する「熱中症」が重篤化しやすいことが明らかになり、国民に対する啓蒙活動が熱中症の発症予防、延いては重症化の予防に重要であることも指摘した。本研究は厚生労働省の指定研究である「効率的な熱中症予防のための医学情報週数・評価体制構築に関する研究」の一貫として行われる熱中症の疫学調査であり、救急医療施設における熱中症患者の実態と詳細を把握し、病態や治療などに関連する項目の集積を行うことにより熱中症の診断基準や治療のガイドラインの作成とその改訂を目的とするものである。</p>
研究方法	<p>◆対象となる患者さん:2022年7月1日～同9月30日までに当院を受診され「熱中症」と診断された患者さん</p> <p>◆方法:この研究は「前向き研究」といい、患者さんが来院したときから診療録上のデータを集積しますが、新たにご負担をかけるものではありません。</p> <p>調査項目:年齢・性別・発症日・発症の時間帯・発生時の天気(気候)、患者さん自身の重症度などを集積します。これらのデータにおいてすべての患者さんは「匿名化」され、お名前や住所などのプライバシーに関する情報が漏れることは一切なく、何らかの負担が生じることもありません。</p> <p>調査したデータは日本救急医学会「熱中症及び低体温症に関する委員会」において多施設から同様に集積されたデータとともに集計された後、研究期間中(2022年7月1日から9月30日)は研究責任者の下で厳重に保管され、研究終了後に破棄あるいは消去されます。</p> <p>今回の研究で得られた結果については医学的な専門学会や医学雑誌等で公表されることがあります。</p> <p>本研究に組み入れられることをご希望されない方は担当医や下記の問い合わせ先にお知らせください。その場合、データの収集や統計解析は行いません。ご希望されない場合でも患者さんに不利益になることはございません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 救急科(救命救急センター) 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者:林 宗博 TEL:03-3400-1311 FAX:03-3409-1604</p>